

## 撤収手順

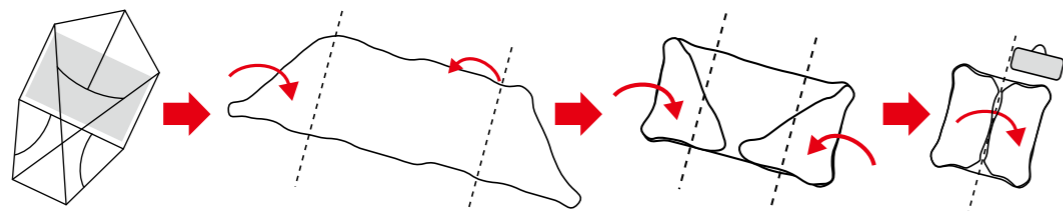
### STEP

フライシートを固定したペグ、ロープ、フック、内側にあるベルクロテープをすべて外します。



**注意**

テントを濡れたままで収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移りやカビ発生の原因となる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



たてに半分に折り重ねる。

両端を中へ折り込んで長方形にする。

長方形を更に中へ折り込み、収納ケースより少し小さくたたむ。

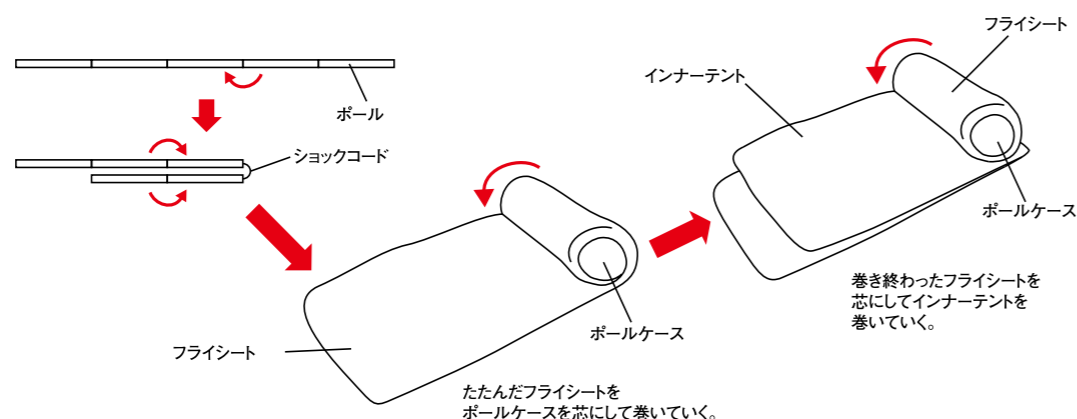
### STEP

ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



**注意**

ポールを収納する際は、中央付近から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一に、テンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



フライシート

たたんだフライシートをポールケースを芯にして巻いていく。

ポールケース

巻き終わったフライシートを芯にしてインナーテントを巻いていく。

ポールケース

フライシート

インナーテント

ポール

ショックコード

コールマン ジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス: **0120-111-957**

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

## EGG DOME

[エッグドーム]

### 取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

## 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原や中洲、崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は保護用に手袋などを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指などを挟まないように注意してください。また周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールや本体の破損やね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指などを打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時または、強風が予測される場合はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体は必ずペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認して適切なペグをご用意ください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について  
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テントのフライシート、タープ内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

## 収納・管理の注意

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた水分や砂、土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

## 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

●インナーテント	1張	
●フライシート	1張	
●メインポール(グレー)	2本	
●センターポール(イエロー)	1本	
●リアポール(オレンジ)	1本	
●自在ロープ	6本	
●スチールピンペグ	15本	

## 設置時



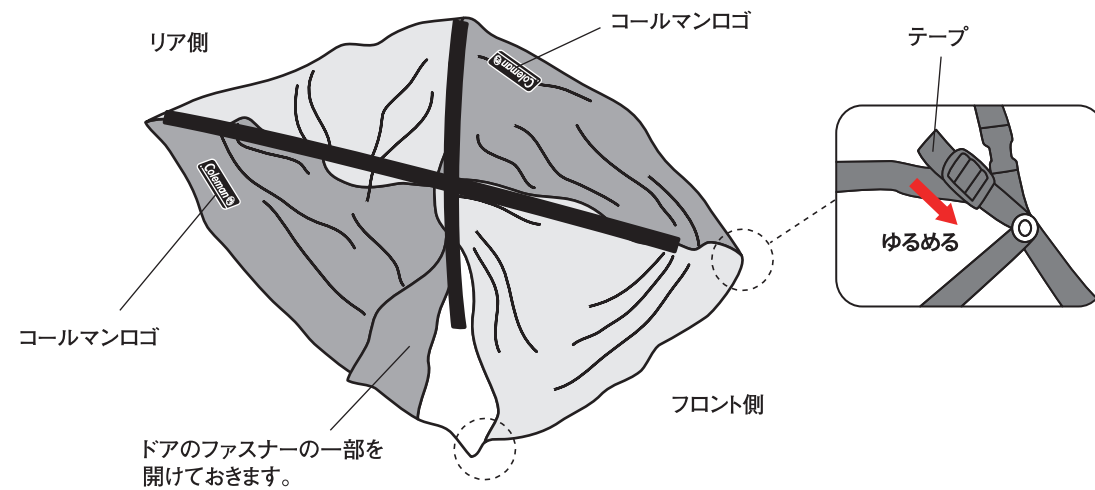
### 設営時のポイント

本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドグリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

# 設営手順

## I フライシートを広げます

**STEP 1** 側面にコールマンロゴのプリントがあります。中に空気が入りやすいように、ドアのファスナーの一部をあけておきます。フロント、サイドのループをゆるめておきます。



**注意** このテントは、インナーテント吊り下げ式で取り外し可能ですが、設営の前に取り付けておく必要があります。各コーナーのバックルをとめておいてください。

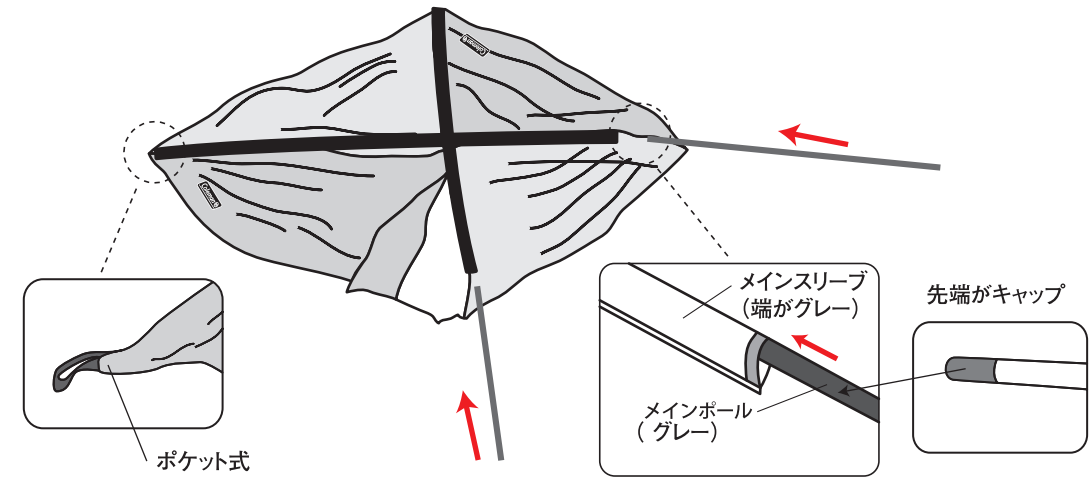
## II メインポールをセットする

**STEP 2** メインポール(グレー)2本を伸ばします。



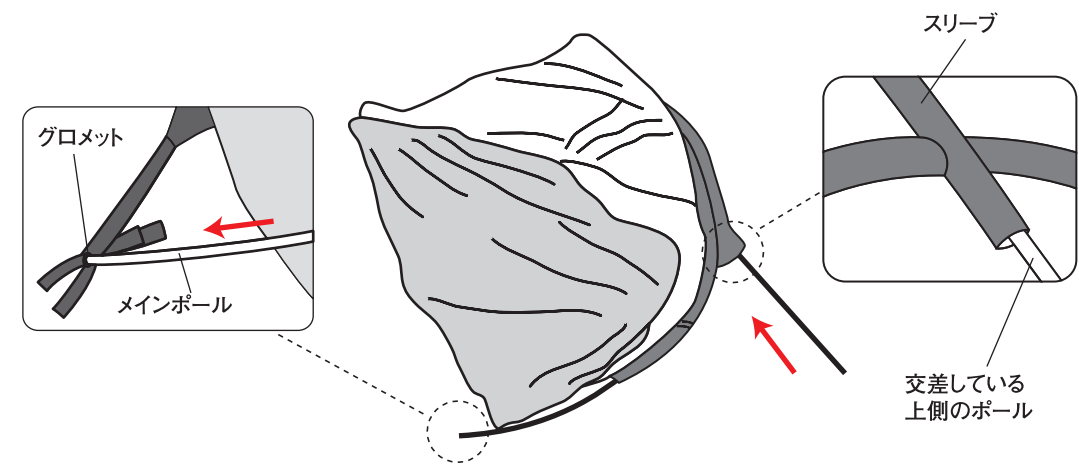
**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 3** メインポール(グレー)をメインスリーブに通します。キャップの付いている端のほうからスリーブに通します。



**注意** メインポールには向きがあります。キャップのついているほうからスリーブに入れてください。リア側はポケット式になっています。ポールの切端をポケットの奥までしっかりと押し入れてください。

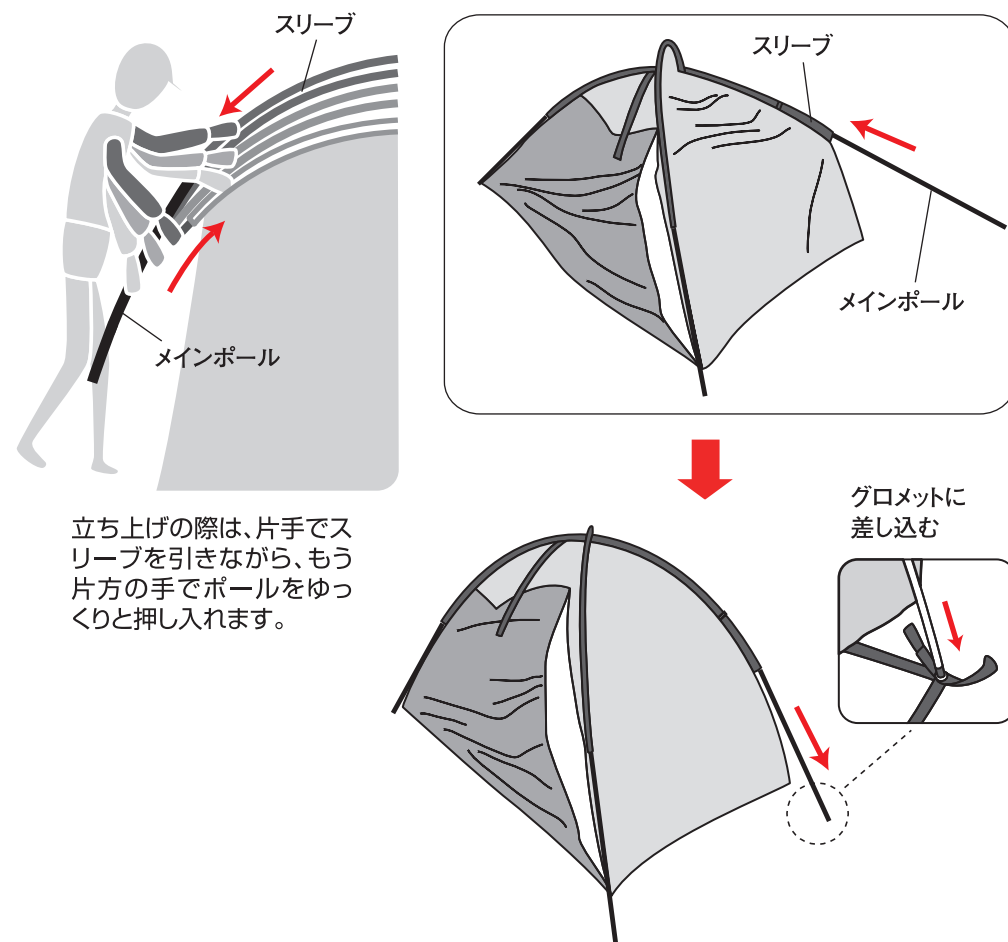
**STEP 4** 交差している2本のメインポールのうち、上側のメインポールを押し入れます。フロント側のスリーブの端を持ち、メインポールを押し入れながら、メインポールの反対側の端をフロント側コーナーのグロメットに差し込みます。図のようにアーチ型に反ったポールを地面に置いておきます。



**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指などははさまないように注意してください。

## STEP 5

反対側のメインポールを立ち上げます。  
フロント側のスリーブの端を持ち、メインポールを押し入れながら、立ち上げます。  
メインポールの反対側の端を、フロント側コーナーのグロメットに差し込みます。



**注意** 立ち上げの際は片手でスリーブを引きながら、もう片方の手でポールをゆっくりと押し入れます。スリーブを持たずに押し込むと、ポールが折れたり生地が破れたりします。

**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指などはさまないように注意してください。

## III センターポールをセットする

## STEP 6

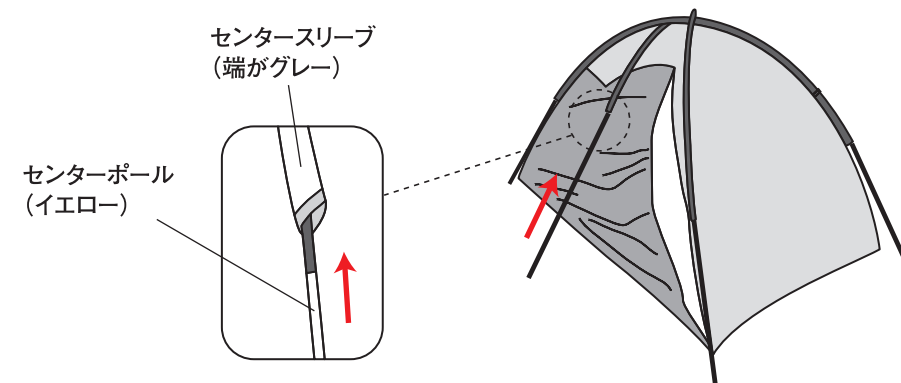
センターポール(イエロー)を伸ばします。



**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合は、ポールが折れる可能性があります。

## STEP 7

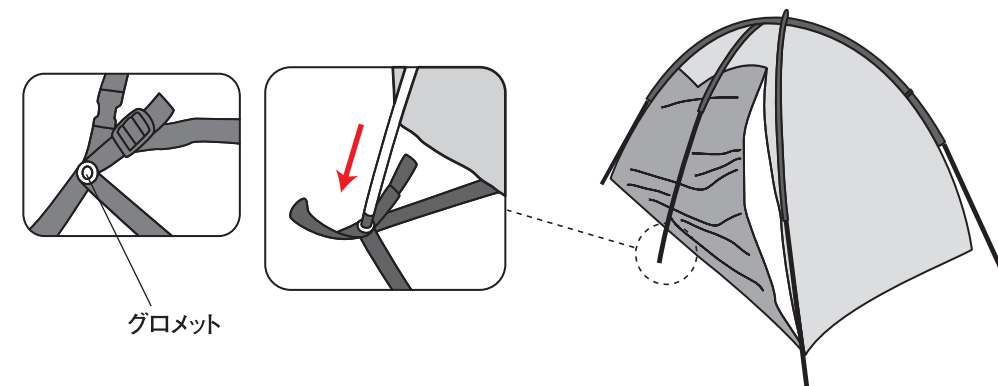
センターポール(イエロー)をイエローのスリーブに通します。



**注意** スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

## STEP 8

センターポールの端を、グロメットに差し込みます。



**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指などはさまないように注意してください。

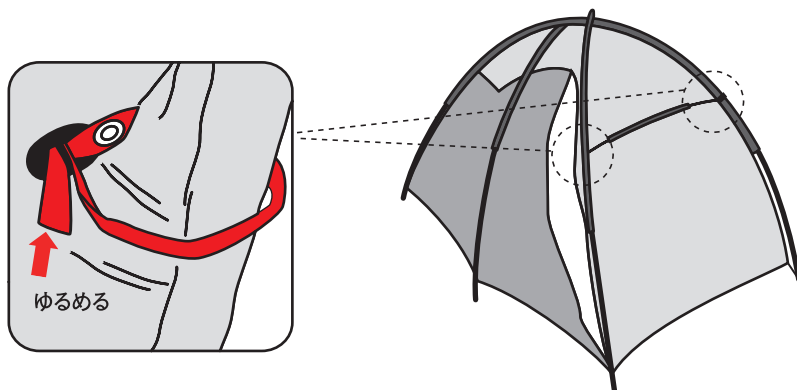
## IV リアポールをセットする

**STEP 9** リアポール(オレンジ)を伸ばします。

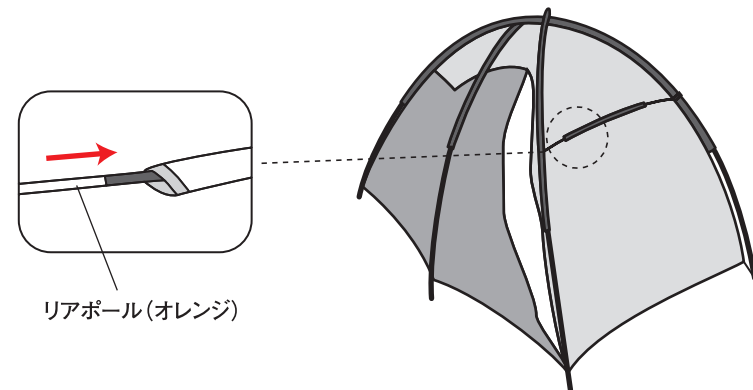


**注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合は、ポールが折れる可能性があります。

**STEP 10** メインポールスリーブのところについているグロメット付きのテープ(2ヶ所)をゆるめておきます。

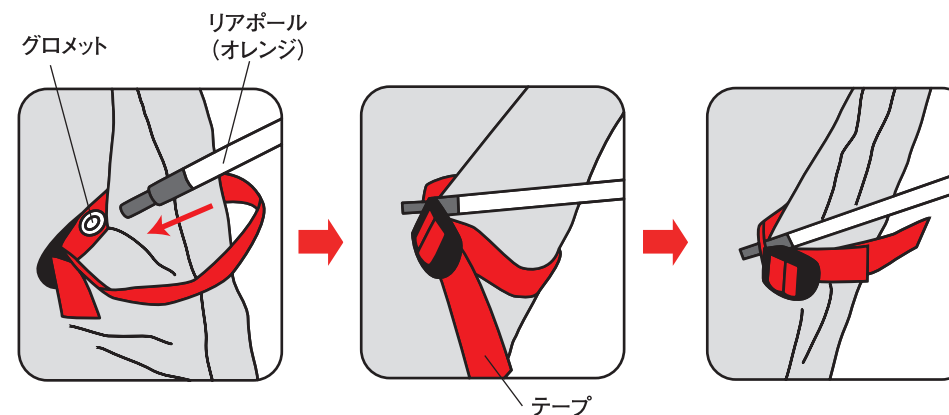


**STEP 11** リアポール(オレンジ)をスリーブに通します。



**注意** スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

**STEP 12** リアポールの端をグロメットに差し込みます。ポールを差しこんだら、テープをひっぱり、張り具合を調節します。

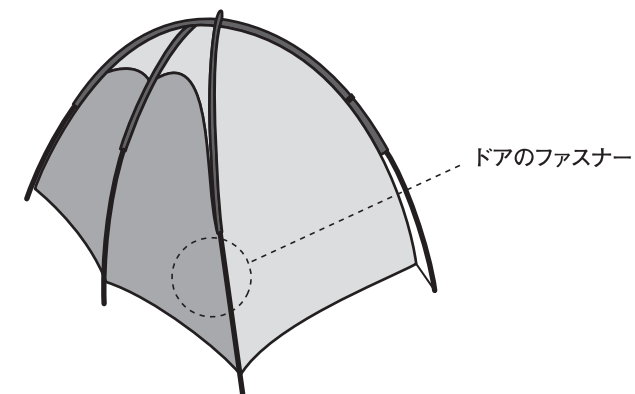


**注意** ポールをグロメットに差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

**注意** テープを引きすぎないように注意してください。

## V 設営位置を決め固定する

**STEP 13** ファスナーをすべて閉めます。



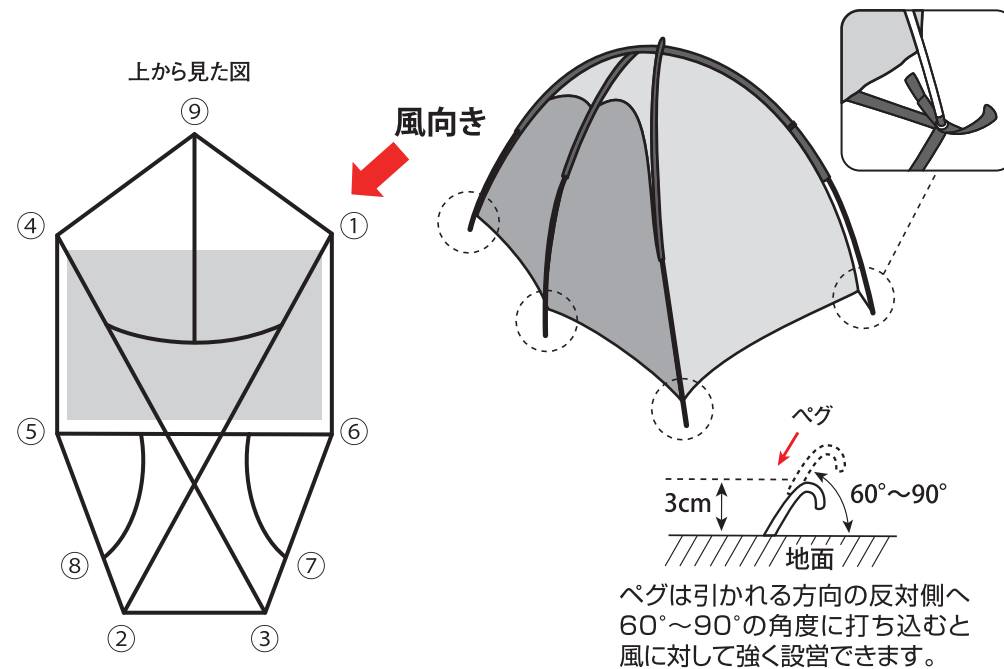
**注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した際にドアが閉まらなくなることがあります。

**STEP 14** 各コーナーのバックルのテープを引き、フライシートのたるみを取って張り具合を調整します。



**注意** テープを引きすぎないように注意してください。

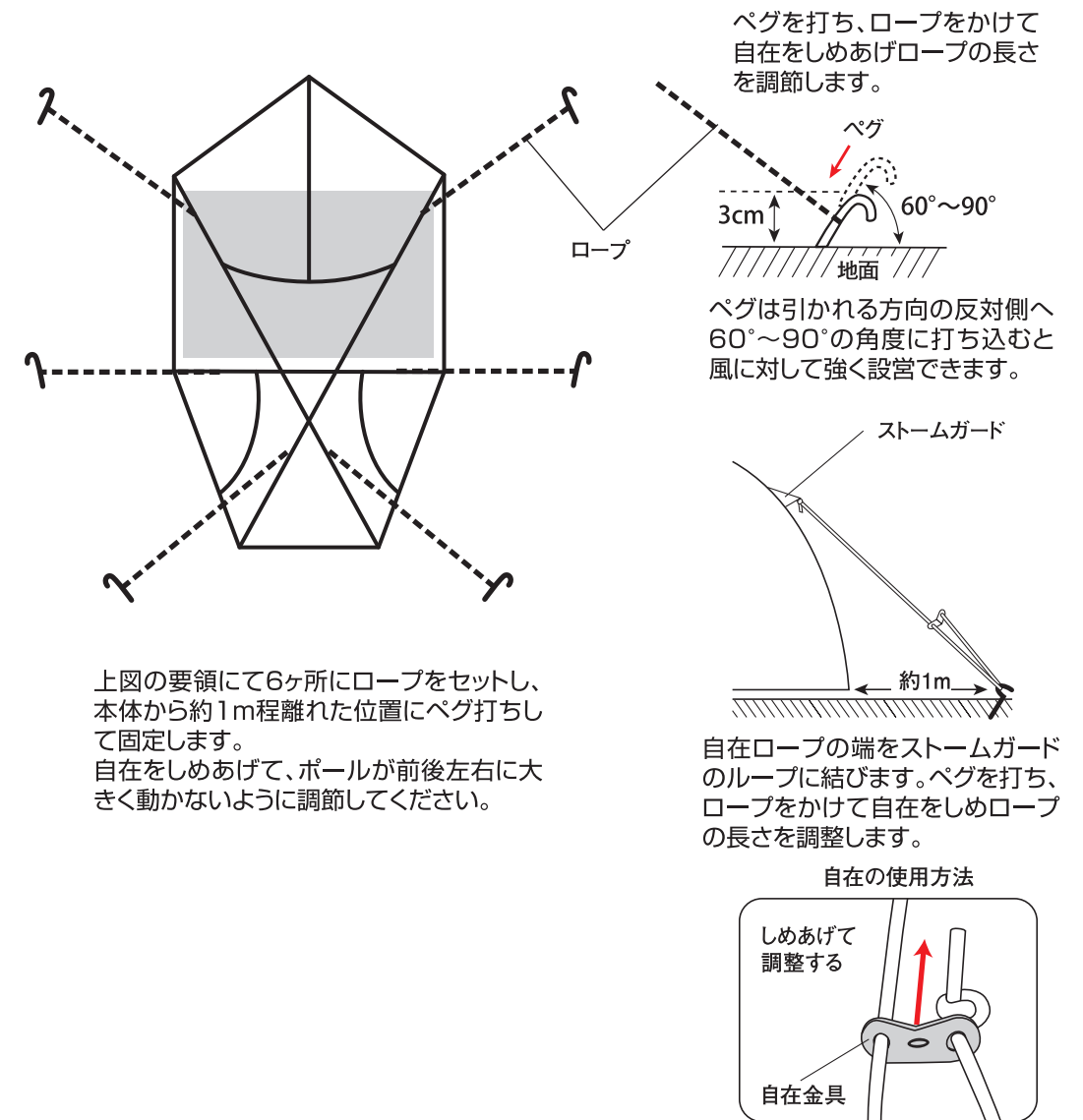
**STEP 15** 設営位置を決め、図のように7ヶ所のループを風上より①～⑨の順で対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



**注意** フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

## VI ロープを張り固定する

**STEP 16** ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



上図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないように調整してください。

**注意** ドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。